

人がひととなるまで　そして神になるまで

この世は、人がくじ引きで○○さんの子どもということになって、自分を自覚したときからはじまる。「○○ちゃん、手伝ってね」「よくやってくれたね」と話しかけられた子は

仲間意識と存在感を自覚し、感謝の心と喜ばれたいという気持ちが育っていく。

やがて、友だちができて、競い合うようになったとき、勝ちたいという気持ちが芽生えてくる。

負けたときの悲しみや悔しさから、頑張ることと負けた人に対する思いやりが芽生えてくる。

そして、みんなで仲良くする方法を見つけようとするようになる。

目標に向かって、理論を学び、実践を繰り返すところから、体験が自分のものとなる。

自分の体験を通して、人のためになりたい、そして解ってもらいたいという気持ちで挑戦を続ける。

助けられない人、解ってくれない人との体験の中で、

それは人のためではなく、自分のためだと気づいたときに、

本当の優しさが育っていく。

祈るような気持ちで生き続けた先に…神が待っている。

信州飯田ふるさと会連合会　会長　平田達

〒110-0076

東京都千代田区五番町一番地九

MG市ヶ谷ビルディング6階

平田法律事務所

電話　〇三・三三二二一・〇二〇一

FAX　〇三・三三二二一・一一六一

